

数値目標の達成状況（精神センター）

（１）医療機能や医療の質、連携の強化等に係る数値目標

| 数値目標 | 単位 | 2022 実績 | 2023 目標 | 2023 実績見込 | 達成率 | 2024 目標 | 目標未達理由と今後の対策 |
|-------------------------------|----|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|--|
| 訪問看護・ACT訪問件数 （うち ACT 訪問件数） | 件 | 3, 882 (1, 900) | 4, 140 (1, 950) | 4, 182 (1, 791) | 101. 0% (91. 8%) | 6, 570 (3, 160) | 【今後の対策】 ・各病棟看護師による退院後訪問看護を実施し目標を達成できたが、2024 目標は職員の増員を前提での目標である。 ・2024 年度は、職員の増員がないことから、今年度と同程度の件数を目指しつつ、地域の訪問看護ステーションに引き継げるようにACTを活用する。 |
| 救急患者数 | 人 | 518 | 480 | 546 | 113. 8% | 485 | 【今後の対策】 ・ベッドコントロール会議等により、各病棟の連携によるスムーズな保護室の運用を図り、精神科救急医療情報システム当番病院での対応の他、後方支援病院の優先病院や補完病院としての機能を積極的に発揮していく。 |
| 修正型電気けいれん療法の他院からの紹介患者件数 | 件 | 11 | 12 | 15 | 125. 0% | 12 | 【今後の対策】 ・東 2 病棟の保護室を mECT 治療用として利用するとともに、他院へ当センターの先進的な医療を周知することにより、紹介患者を確保する。 |
| クロザピン処方実人数 | 人 | 89 | 72 | 85 | 118. 1% | 79 | 【今後の対策】 ・クロザピン新規導入患者を西 2 病棟、西 3 病棟に計画的に配置するとともに、他院へ当センターの先進的な医療を周知することにより、紹介患者を確保する。 |
| 患者満足度(上段:入院、下段:外来) | % | 75. 0 54. 5 | 75. 5 55. 0 | 73. 6 52. 3 | 97. 5% 95. 1% | 76. 0 55. 5 | 【目標未達理由】 ・概ね目標と同程度の水準である。 【今後の対策】 ・接遇研修をはじめとした各種研修を実施するとともに、アンケート結果から満足度の低い項目の強化を図る。 |
| 逆紹介率 | % | 50. 4 | 52. 0 | 37. 4 | 71. 9% | 54. 0 | 【目標未達理由】 ・退院相談時の情報提供のみで済ませてしまい、退院時の診療情報提供書の作成件数が少なかった。 【今後の対策】 ・退院時の診療情報提供書の作成を医局全体に周知徹底する。 |

(2) 経営指標に係る数値目標

| 数値目標 | 単位 | 2022 実績 | 2023 目標 | 2023 実績見込 | 達成率 | 2024 目標 | 目標未達理由と今後の対策 |
|------------|----|---------|---------|-----------|--------|---------|---|
| 修正医業収支比率 | % | 56.9 | 63.3 | 58.2 | 91.9% | 63.6 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月まで確保していた新型コロナウイルス感染症確保病床が低い利用率であった。 ・長期入院患者の退院促進ができたこと。また、医師が充足していないため、新たな入院患者を獲得できなかったことによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を確保することや、他の医療機関との連携を進めること等により患者を確保するとともに、経費の削減対策を実施する。 |
| 新入院患者数 | 人 | 901 | 833 | 954 | 114.5% | 834 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープンホスピタルや、地域連携の実施、児童相談所との連携強化及び救急患者の受入れにより、新入院患者数を確保する。 |
| 病床利用率 | % | 57.3 | 75.8 | 64.3 | 84.87% | 76.2 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月まで確保していた新型コロナウイルス感染症確保病床が低い利用率であった。 ・長期入院患者の退院促進ができた。また、医師が充足していないため、新たな入院患者を獲得できなかったことによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を確保することや、他の医療機関との連携を進めること等により、新入院患者を増やすとともに、レスパイト入院の活用や、適切な在院日数の維持などの対策を実施する。 |
| 新外来患者数 | 人 | 898 | 900 | 941 | 104.6% | 900 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携により紹介された入院に至らない患者も、引続き外来で受け入れていく。 |
| 1日当たり外来患者数 | 人 | 199.8 | 258 | 196.2 | 76.0% | 282 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイケアにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した患者が戻ってこなかったこと。医師不足により、新患外来枠を増やすことができなかったことによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を確保することにより新外来患者枠を増やしていくとともに、デイケア患者を確保するために、魅力的なプログラムの実施や、退院患者等への参加の働きかけなどに取り組む。 |
| 平均在院日数 | 日 | 62.7 | 90.0 | 67.3 | 74.8% | 90.0 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期入院患者の退院促進ができたこと。早期退院への意識が働きすぎたことによる。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院時確認項目の医局会での周知徹底を図り、適切な入院日数の確保を図る。 |
| 院外処方率 | % | 44.0 | 44.0 | 57.7 | 131.1% | 45.5 | <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待合掲示、チラシの配布や個別の説明により患者の協力を求めていく。 |
| 職員充足率 | % | 96.2 | 100 | 98.7 | 98.7% | 100 | <p>【目標未達理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手医師の当センターへの勤務希望が少なかったため。 <p>【今後の対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学の他、名古屋市立大学、藤田医科大学への働きかけを実施するとともに、教育の充実により離職者を防ぐ。 |